

周防大島町 議会だより

2017・1

第48号

発行／周防大島町議会

〒742-2192

周防大島町大字小松 126-2

TEL:0820-74-1003(議会事務局)

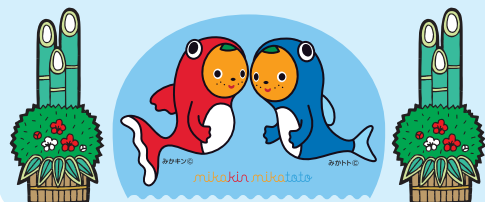
編集／議会広報編集特別委員会

印刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

- 12月定例会概要・その他 2～3P
- 一般質問(4人登壇) … 4～7P
- 議会構成 …… 8～9P
- 議会活動報告・その他 … 10～11P
- 新年の抱負 …… 12P

賀正



第70回大島一周駅伝は、12月18日晴天のもと、盛大に開催されました。

今回は周防大島高校5チームを始め、郡内9チームが参加し、大会を盛り上げてくれました。

議 会 報 告

第4回 臨時議会開催

平成28年第4回周防大島町議会臨時会を11月22日に開催し、

議長・副議長、常任委員会及び議会運営委員会の委員、正副委員長、柳井地区広域消防組合議会議員、柳井地域広域水道企業団議会議員など新たな議会構成が決まりました。

さらに、「岩国基地関連対策特別委員会」が設置され、調査・研究を委員会に付託することに決定しました。

(8～9頁にて紹介)

また、人事案件として周防大島町教育委員会教育長・教育委員の任命について審議されました。教育長の任命同意は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に基づくものであり本町の場合、11月27日か

ら新教育長制度に移行することとなりました。

○各人事の任命と同意

○教育長の任命同意

西川 敏之氏

○教育委員の任命同意

長尾 恵子氏

○柳井地区広域消防組合議会議員を選任

尾元議員・久保議員

○柳井地域広域水道企業団議会議員を選任

吉田議員・平野議員

以上、上程された案件の審議13件をすべて可決し、閉会しました。



12月定例会概要

平成28年第4回定例会を12月7日から19日までの13日間の会期で開催しました。

始めに、3期目を迎える椎木町長より所信表明があり、行政報告としては町に対する訴訟の応訴、また米海兵隊最新鋭ステルス戦闘機F35Bの岩国基地への配備と安全性について、町の方針及び現状報告がありました。

会各種特別委員会の設置(地域活性化特別委員会・防災対策特別委員会・猪対策特別委員会・議会広報編集特別委員会)、各町人会への議員派遣についても審議を行いました。

町長提出議案としては、一般会計等補正予算10件、水道事業に関する条例の制定が4件、各条例の一部改正が6件、水道企業団の規約の変更が1件、指定管理者の指定が1件、工事請負契約の締結に関する議案が1件、人事案件が3件、議員発議が1件の計27件が上程され審議されました。

この中で水道事業に関する条例制定の議案4件については建設環境常任委員会に付託され、委員会では付託された案件の審査が行われました。

16日には一般質問が行われ、害獣対策・中学校統合問題等について議論を交わしました。

19日には既に可決した8議案を除く議案について審議を行い、本定例会に上程された全ての議案・同意・発議を可決し、閉会しました。

加えて、周防大島町選挙管理委員会委員・補充員、町議

○第4回定例会における 人事案件について

○周防大島町固定資産評価
審査委員会委員の選任

竹本 厚三氏
田中 忠治氏
中村 鈴美氏
東原 平典氏

○周防大島町監査委員
(識見を有する者)の選任

西本 克也氏

○周防大島町監査委員
(議会選出)の選任

尾元 武議員

○周防大島町
選挙管理委員会委員

金崎 哲男氏
前崎 浩二氏
川本 卓氏
山本 專人氏

○指定管理者の指定につ いて

○周防大島町ながつらスポー
ツ滞在型施設等の指定管理

者の指定について

・指定管理者名称

瀬戸内海リゾート株式会社

・指定管理料(年間)

16,500,000円

※条例第6条第1項による非公募
による選定。(過去の実績による)



ながつらスポーツ滞在型施設

○周防大島町議会からの 意見書の提出について

○地方議会議員の厚生年金制
度への加入を求める意見書
の提出について

衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・内閣官房長官・
財務大臣・総務大臣・厚生労

働大臣へ意見書を提出するこ
とについて、新山議員から発
議があり、全員賛成により採
択されました。
地方議会議員の役割と責任
が重くなる中で、議員を志す
新たな人材確保の観点から厚
生年金制度加入の為の法整備
を求めるものです。

議会用語 Q & A

Q 一般質問とは？

A 一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行
者所見や疑義について質問できるものです。質問す
る議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なこと
から通告制とし、事前に質問内容を通告することと
しています。

周防大島町議会での質問時間は、1人につき質問
答弁を含め60分以内で完了することとされています。
再質問からは、一問一答方式が採用されており、
時間内であれば何度でも再質問ができます。

Q 発議とは？

A 発議は、議会において議事の対象となるべき問題を
提出することです。議案の場合は提案ともいいます。
動議の提出も含みます。

一般質問

こころが

知りたい！
聞きたい！



平野和生 議員

保育料の無料化を

大島の目玉として実現を

問 現在の保育料は、2人以上の子供が同時入所した場合は、1人の保育料は無料となつてゐるが、子育て支援の目玉として、幼児の保育料の無料化を望むものである。

答 現在、町は国の保育料徴収基準に対して、約50%、6,000万円弱の軽減を行つており、今年度より、低所得の世帯については、第2子の保育料が半額に、第3子以降は無料化され、低所得者のひとり親世帯等については、第1子の保育料が半額

に、第2子以降は無料化されている。このことは、子供・子育て会議において、委員及び保護者の方より高い評価を頂いている。更なる支援の充実については、町財政の将来をみながらの検討・課題としていきたい。

生活弱者に対するイノシシ対策の助成と強化を！

問 今回の町議会議員選挙における後援会活動、選挙運動に於いて、特に、独居老人の方々から、イノシシを何とかしてくれという要望が多くあった。現在、さまざまな対策を講じているが、議会も、イノシシ対策特別委員会を設置した。町としても、スペシャルチームを立ちあげ、増え続けるイノシシの撲滅を目ざして行くべきと思う。独居老人等、生活弱者の為に、イノシシの侵入を防ぐため、ワイヤー

メッシュで、家を囲む手助け等をすべきと考える。

答 平野議員の「スペシャルチーム」と称する組織については、町職員及び、大島郡猟友会を中心とした、有害鳥獣全般に係わる指導や助言の行える、体制づくりを検討して行きたい。

又、イノシシの侵入を防ぐ為の個人の家庭へのワイヤーメッシュの設置は、平等の観点からむずかしいと思われるが、今後の課題としていきたい。議会も、イノシシ対策特別委員会を立ちあげられたので、議会との連携もはかつて、イノシシの撲滅を



ワイヤーメッシュで囲われたみかん畑

目指していきたい。

中学校統合の早期実現を！

問 生徒数の減少、郡外への流出、学力の向上、クラブ活動の充実の観点から、中学校の早期統合を求める。場所は、地理的観点から、久賀中学校へ統合するのが良いと考える。いたずらに先のばしせず、一日でも早い統合を望む。

答 去る11月29日に開催した新しい教育委員会制度に基づく第1回の教育委員会会議において、この日までに各学校運営協議会から出された、意向調査票14校中13校分を、各委員に配布し、その後提出された1枚分を含め、次回12月21日（一般質問の日）は16日）の委員会会議において、議論する事としている。教育委員会に於いて、十分協議した後に、今後の対応方針案をつくり、町長の主宰する総合教育会議で、十分協議し、まとまったら、町議会で説明させて頂きたい。

町政を問う！



吉田 芳 春 議員

イノシシの駆除・

防御の強化を

問 みかんの収穫を前にイノシシがみかんを食い荒らし、柑橘園は全滅したと農家の方が話されていた。

このような状態が続くと、高齢と共に労働意欲も減退し、耕作放棄者が多数増え、向こう5年以内には本町の基幹産業である柑橘は衰退の一途を辿ることになる。緊急な対策が必要である。見解を問う。

答 本町の基幹産業である柑橘被害が、本年度は特に顕著に表れている。イノシシの増加は、イノシシがみかんの味を覚え、餌として認識してきた事も考えられる。イノシシ被害防止対策

は、「捕獲」と「防御」と「棲み分け」、この3本の施策を地道に実施することが現時点での対策と考えている。

要望 巷では、イノシシは周防大島町の人口よりも多く生息しているのではないとも言われているが、実際には生息頭数は不透明である。しかし、イノシシの捕獲頭数が年々増加してきている。これは捕獲技術の向上にもよるものがあるかも知れないが、それ以上に捕獲頭数に比例してイノシシが増加傾向にあると考えられる。

いずれにしても一刻も早くイノシシの増加に歯止めをかけ、農作物等の被害減少を地域住民と一体となって取り組み、イノシシの駆除と防御体制の強化を

イノシシの捕獲頭数

年 度	捕獲頭数
平成23年度	642 頭
平成24年度	998 頭
平成25年度	1,290 頭
平成26年度	1,621 頭
平成27年度	1,763 頭

要望する。

～未来につなごう～ 廃校の有効活用を



問 旧屋代小学校及び旧椋野小学校に、一時保存中の大島歴史民俗資料館の民俗資料を移転するため、旧田布施農業高校大島分校屋内運動場が改修され、民俗資料の移転作業も完了している。

今後は、旧屋代小学校及び旧椋野小学校の有効活用を図るため、地域の皆さんからの要望等をお聞きし、利活用について積極的に取り組み、屋代・椋野地区の発展策・活性化に資するよ

う要望する。学校施設は、地域住民にとつての身近な公共施設であり、また、その校舎などは地域のシンボリックな存在である場合が多く、廃校となった後もできるだけ地域コミュニティの拠点として活かすことが重要である。見解を問う。

答 旧屋代小学校の校舎は旧耐震基準に基づく建物であるため、民俗資料の保管や倉庫等の活用以外には有効な利用方法がないものとなっており、また講堂についても老朽化した木造建物のため、「学校跡地施設利用検討会」においては有効な利用方法が示されていない。今後、町長部局で検討することが望ましいとされている。

「旧椋野小学校跡地利用に関する検討会」において、避難所としての機能の確保、リハビリテーション施設、地区社会福祉協議会の活動拠点、企業誘致、椋野公民館を廃止して同様の機能を旧椋野小学校に整備する。等々の利用案があった。

町政を問う！



田中豊文 議員

情報公開と

町民の知る権利について

問 情報公開は、主権者である町民に対して行政が説明責任を果たすための、非常に重要な観点であり、町民の知る権利をも規定した情報公開条例の理念を、現場に反映させる努力が求められる。町情報公開条例の実際の運用と課題及び情報提供の方針について問う。

また、条例では開示決定を30日以内と規定しているが、近隣自治体と比べても長すぎるので、改正が必要ではないか。

答 情報公開制度の運用については、情報公開事務の手引きを作成し、情報公開条例の解釈と運用について、職員へ共通の認

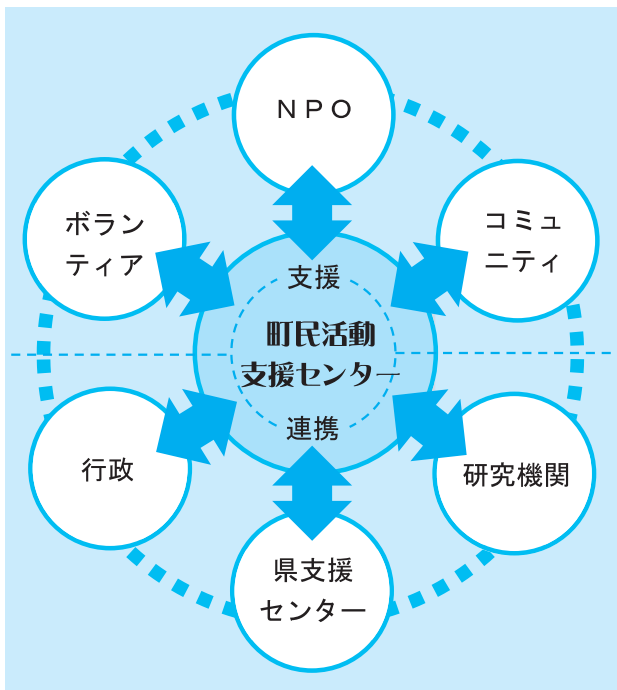
識を図っている。研修などを活用し、よりよい制度運用に向けて取り組んでいく。

町からの情報提供は、町民参画のためにも必要で、積極的に行う方針である。出来るだけ早く開示できるよう運用しているが、条例改正についても、今後議論・検討していく。

町民活動支援について

問 民間の社会貢献活動である町民活動を、行政としていかにサポートし高めていけるかが、官民協働によるまちづくりが成功するための基本理念であると考えられている。町民活動や官民協働のまちづくりをコーディネートする支援拠点の設置について、町の認識を問う。

町民活動支援センターの機能イメージ



答 拠点となる施設や運営にかかる財政負担、従事する職員の配置などを検討しながら、前向きに考えたい。

周防大島の将来ビジョンについて

問 厳しさを増す地域課題の解決に取り組むためには、姿かたちがいち早く描けて町民が共有できるような具体的な将来像が必要であると考えている。

町長がこの町のトップリーダーとして思い描く「周防大島を

こんな町にしたい」という将来ビジョンはどのようなものなのか問う。

答 私の三期目のスローガンは「交流から定住へ、そして誰もが主役になれる町へ」である。人口減少、地域、自治会機能の維持への対策として、町民の知恵と力を出し合い、住民が主体となったまちづくりをすすめる行政・民間・住民それぞれの役割を認識しながら将来に向かってのかじを取り、住民活動を支援していきたい。



空き家を見学する移住希望者

町政を問う！



砂田 雅一 議員

中学校の統合は
中止または延期をするべき

問 中学校の1校統合に対して、町がおこなったアンケートでは、中学生の多数が反対し、保護者は賛成と反対が拮抗しているとしている。この賛否が拮抗していることを重視すること、及び中学生の多数が反対していることを重視し、この統合は中止するか、または延期することを求める。この反対の意見の方は具体的にどんな意見を持っているか。

答 「通学距離や通学時間が長くなる」「地域と学校とのつながりが薄れ、地域が寂れる」生徒からは「統合により、新しく一緒になる生徒との人間関係が

本町の中学校を1校に統合した場合の 校区面積を県内市町と比較した表

2015年5月現在（小数点以下四捨五入）

市 町	中学校数	生徒数	1校当たりの生徒数	土地面積(km ²)	1校当たりの校区面積(km ²)
周防大島町	5	282	56	138	138
和木町	1	196	196	11	11
上関町	2	38	19	35	18
田布施町	1	398	398	50	50
平生町	1	313	313	35	35
阿武町	2	59	30	116	58
町計(平均)	12	1,286	107	384	32
下関市	23	6,464	281	716	31
宇部市	15	4,650	310	287	19
山口市	20	5,831	292	1,023	51
萩市	16	1,129	71	698	44
防府市	12	3,269	272	189	16
下松市	3	1,531	510	89	30
岩国市	21	3,815	182	874	42
光市	6	1,640	273	92	15
長門市	6	793	132	357	60
柳井市	4	808	202	140	35
美祢市	8	580	73	473	59
周南市	19	3,908	206	656	35
山陽小野田市	7	1,654	236	133	19
市計(平均)	160	36,072	225	5,728	36
県総数(平均)	172	37,358	217	6,112	36

※中学校数・生徒数・土地面積については、山口県統計協会発行「山口県勢要覧」参照

※周防大島町の『1校あたりの校区面積』については、中学校数を1校として計算

心配」地域の方からは「統合しない方が一人一人の学習状況が把握しやすく、きめ細かい指導が可能」「学校がなくなると人口減の加速度が増す」「通学時間の増加により、部活の時間が減る」などの意見がある。

問 統合に関する会議、協議会などは全て公開とすることを求める。

答 今後は全体を公開したいと考えている。ただし、プライバシー保護の観点から、非公開と

する場合もある。

1校統合で県内最大の校区面積になり、通学の不便さは山口県一になる

問 1校に統合した場合、その中学校の校区面積は138km²となる。これは山口県平均の36km²に比べてもとてもなく広い校区になってしまう。2番目に校区面積が広い長門市と比べても、2倍以上広い面積である。仮に周防大島町で2校の中学校にしたとしても、校区面積は69km²と

なり、やはり山口県で最大の校区面積になる。

これでは通学時間がかかりすぎて不安だという保護者の方の意見は当然である。

大島4町の合併前は、「周辺部の方も不便にさせない」と約束したはずだが、これをどう考えるのか。

答 広いと思う。ただ、その広さと他の考え方と総合的な判断がいると思うが、面積に関しては大変広いと考えている。

議会構成

議会の新しい構成が決まりました。議員の定数が16から14に減り、特別委員会の数も増えたので、議員一人当たりの役割が増えました。新人5人を迎え、リフレッシュした議会で、町民の皆様の期待に応えます。

(議員任期：平成28年11月14日～平成32年11月13日)

議長	副議長
荒川 政義 (平成28年11月22日選任)	小田 貞利 (平成28年11月22日選任)

(平成28年11月22日選任) (～平成30年11月21日まで)

総務文教 常任委員会	民生 常任委員会	建設環境 常任委員会	議会運営 委員会	岩国基地 関連対策 特別委員会
【委員長】 久保 雅己 【副委員長】 新田 健介	【委員長】 松井 岑雄 【副委員長】 吉村 忍	【委員長】 平野 和生 【副委員長】 田中 豊文	【委員長】 新山 玄雄 【副委員長】 藤本 淨孝	【委員長】 久保 雅己 【副委員長】 新山 玄雄
【委員】 吉村 忍・砂田 雅一 尾元 武・新山 玄雄 荒川 政義	【委員】 藤本 淨孝・新田 健介 砂田 雅一・吉田 芳春 尾元 武	【委員】 藤本 淨孝・新山 玄雄 中本 博明・久保 雅己 小田 貞利	【委員】 砂田 雅一・平野 和生 松井 岑雄・久保 雅己	【委員】 平野 和生・松井 岑雄 尾元 武・小田 貞利 荒川 政義

特別委員会を代表して

岩国基地関連対策特別委員長

久保 雅己

岩国基地をめぐる諸問題は、我が周防大島町にとって、甚大な影響をもたらすと考えられます。

議会としても特別委員会を設置し、米軍再編の状況によっては、本町の住民生活、環境への影響がどのように想定されるのか、住民負担の軽減と安心安全をどう確保していくのか、岩国基地関連の対策について、関係機関との連携、情報交換をとおして、最良策を検討すべく調査・研究を行う所存です。

地域活性化特別委員長

平野 和生

平成26年に本委員会が設置され、「地域資源を活用した人口定住の促進」に向けて調査・研究し、その提言を委員会としてとりまとめ、町長に提言して参りました。引き続き、新しい議会構成のもと、①住宅支援②子育て支援③教育環境の充実④結婚・出産・子育ての環境整備⑤産業振興による雇用の創出等、大島の活性に係わる、さまざま分野に於いて、調査・研究をして参りたいと思います。

必要とあらば、郡内で地域活性に取り組んでいる人や団体の意見を聞いたり、地域おこしに成功した市町村への視察等も含めて、活動をしていきたいと考えております。

(平成28年12月7日選任) (平成30年12月6日まで)

地域活性化 特別委員会	防災対策 特別委員会	議会広報編集 特別委員会	猪対策 特別委員会
【委員長】 【副委員長】	【委員長】 【副委員長】	【委員長】 【副委員長】	【委員長】 【副委員長】
平野 和生 新田 健介	尾元 武 砂田 雅一	新山 玄雄 藤本 淨孝	小田 貞利 吉村 忍
【委員】	【委員】	【委員】	【委員】
田中 豊文・吉田 芳春 新山 玄雄・小田 貞利 荒川 政義	藤本 淨孝・吉村 忍 松井 岑雄・中本 博明 久保 雅己	新田 健介・吉村 忍 平野 和生・松井 岑雄 久保 雅己	藤本 淨孝・新田 健介 平野 和生・尾元 武 中本 博明

(平成28年11月22日選任) (平成32年11月13日まで)

柳井地区広域消防組合議会	柳井地域広域水道企業団議会
尾元 武・久保 雅己	吉田 芳春・平野 和生

(平成28年12月19日選任) (平成32年11月13日まで)

監査委員(議選)
尾元 武

防災対策特別委員長 尾元 武

「近年、自然災害による甚大な被害が頻発している。これらの災害に備えるため日頃からの準備が急務であり、町内全域として、また各地域としてどの様に取り組んでいけばよいか調査・研究を行う」を目的に本委員会は引き続き設置されました。町民の生命・財産を守り、安全・安心な生活を確保することが、町づくりを進める上で何よりも大切と考えます。防災・減災に関する町の施策に対して、本委員会は皆さまの代表として助言し、参画してまいります。

猪対策特別委員長 小田 貞利

この度、被害が増大している猪対策のため、7名の委員で構成する特別委員会が設置されました。猪の被害は、全国的に問題となっており、人への危害も報告されていますが、有効策がないのが現状です。当委員会は、本町の被害状況等を把握し、猪の習性、先進地の事例、周防大島町の環境などを調査・研究します。効果の見込める対策を模索し、町執行部への提言、被害の削減を目指します。

議会広報編集特別委員長 新山 玄雄

新しい7人のメンバーで「議会だより」をつくることになりました。多岐にわたる議会の動きを読みやすく、親しみやすく皆様にお伝えしたいと思えます。皆様のお声をしっかりお聞きして、紙面づくりに取り組んで参ります。ご意見・ご感想を編集委員会までお知らせ下さい。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

議会活動 報告

議会の活動を時系列でご報告します。
今回は11月15日の「改選後の打ち合わせ会」から、今年1月13日の「柳井地区広域市町議会議長会 臨時総会」までの2ヶ月間の活動報告となります。

H
28
・
11
・
15

改選後の打ち合わせ会

鹿児島県肝属郡錦江町行政視察来町（荒川）

第133回東京大島郡人会（東京都：荒川、尾元）

第28回ふれあいコンサートinくか（吉田、新田）

第29回近畿大島会（大阪府：荒川、尾元）

議会運営委員会

第4回臨時会（本会議）

総務文教常任委員会

民生常任委員会

建設環境常任委員会

岩国基地関連対策特別委員会

香川県香川郡直島町行政視察来町（荒川）

平成28年度町議会広報研修会（田布施町：事務局1名）

議会運営委員会

正副議長就任あいさつ回り（岩国・柳井：荒川、小田）

沖繩の基地負担軽減を考える議員有志の会

第1回沖繩協議会（沖繩県：荒川、新山）

議会運営委員会

第4回定例会（本会議）

地域活性化特別委員会

防災対策特別委員会

議会広報編集特別委員会

猪対策特別委員会

11・24
11・25
11・30
12・2
12・3
12・7

11・20
11・22

事務局紹介



議会事務局は、局長のほか議事課長1名、兼務書記1名の計3名で事務を行っています。
主な業務内容は「議事・調査に関する事項」及び「処務に関する事項」の2点に分けられ、議事・調査に関する事項は、定例会、臨時会、常任委員会及び特別委員会等の議事運営や会議録の作成、請願・陳情・意見書等の取り扱いがあります。
処務に関する事項は、議会費の予算管理等、処務全般に関する事務的な業務を行っています。
年4回の定例会や臨時会は、議場において傍聴することができ、議会の模様はケーブルテレビの周防大島チャンネルで放送しています。
議会の開催予定は、ホームページに掲載するとともに防災行政無線でもお知らせいたします。

周防大島町ホームページ

<http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館には議事録を
備えています。



建設環境常任委員会	12	8
議会広報編集特別委員会	12	16
議会運営委員会		
第4回定例会（本会議）		
岩国基地関連対策特別委員会		
第70回大島一周駅伝競走大会	12	18
第70回中学校男子大島駅伝競走大会		
第34回女子大島駅伝競走大会		
第4回定例会（本会議）	12	19
猪対策特別委員会		
全員協議会		
議会広報編集特別委員会	12	22
柳井地区広域消防組合議会 第2回定例会	12	26
（柳井市：尾元、久保）		
沖繩の基地負担軽減を考える議員有志の会		
第1回沖繩協議会に係る首相官邸及び防衛省への報告と要請活動（東京都：荒川）		
周防大島町地域自立支援協議会（松井）	12	27
柳井地域広域水道企業団議会 第2回定例会		
（柳井市：吉田、平野）		
議会広報編集特別委員会		
成人式（荒川、小田、久保）	12	28
消防出初式（荒川、久保、尾元、松井、藤本）	1	5
県知事及び県議会議長への新年挨拶（山口市：荒川）	1	7
第12回医療関係団体新年互礼会（山口市：荒川）	1	13
柳井地区広域市町議会議長会 臨時総会		
（柳井市：荒川）		

『傍聴人受付簿』に変更しました

傍聴者に対して、傍聴者受付名簿に氏名、住所を記入していただいていたましたが、個人情報保護のため、12月議会から下記のような傍聴人受付簿に変更しました。

これから、多くの方の議会傍聴をお願いいたします。

傍聴人受付簿

平成 年 月 日

住所

氏名

年齢

「周防大島町議会傍聴規則」をお守りください。

周防大島町議会

編集後記

謹賀新年、輝かしい新春のスタートです。議会も新しいメンバーで新しい町づくりのスタートを切りました。その議会の活動をこの「議会だより」で皆様にお伝えします。新編集委員一同力を合わせて頑張つて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

委員長 新山玄雄
副委員長 藤本淨孝
委員 松井岑雄 久保雅己
平野和生 吉村 忍
新田健介



新年のご挨拶

議長 荒川政義

新年明けましておめでとございます。町民の皆様におかれましては、すがすがしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、議会に課された問題は多岐多様に渡っておりますが、本年は次の2点を取り上げさせて頂きます。

1点目は、「イノシシ対策」です。各議員さんに寄せられる要望の一番目は、イノシシ被害をどうにかしてほしいということです。幸いにも人への被害は確認されていませんが、農作物等への被害は甚大です。12月定例会で「猪対策特別委員会」を設置しましたので、ありとあらゆる対策を取ってまいりたいと思います。

2点目は、「定住対策」です。本町では、UIJターンが各マスコミに取り上げられておりますが少し角度を変えて、周防大島で生まれ育って頑張っておられる若者にも、ここに住んでいて良かったと思われる政策を考えていきたいと思っています。例えば、若者世代の住まいづくりへの応援として、固定資産税のさらなる課税免除です。さらに子育て世代への支援の充実等、周防大島で頑張っている方々を大切にすることで、島外から移住される方も安心が得られると考えます。この1年、議会も積極的にさまざまな課題に果敢に取り組んでまいりますことをお誓いして、新年のご挨拶とさせていただきます。

副議長 小田貞利

地域格差のない公平な行政サービス実現の為、全力で尽くします。



本年も皆様にとってよりよい年でありますようご祈念申し上げます

藤本 浄孝 議員

未来を見つめ、目線は広く、感謝・笑顔・初心を忘れず精進します。



田中 豊文 議員

小さな声や弱い立場の人を尊重し公平・公正な立場で活動します。



尾元 武 議員

地方創生の今、絆社会の確立と次世代への基盤役として、「初心貫徹」



新田 健介 議員

皆様が幸せを感じる周防大島町の実現のため、一步一步確実に前に進んで行きます。



吉田 芳春 議員

皆様の声をしっかりと聞き、地域の課題解決に取り組めます。



新山 玄雄 議員

今年は宮本常一先生御生誕百年です。その精神を継承する一年に。



吉村 忍 議員

使命感・責任感・情熱を持って、我故郷の為に頑張ってまいります。



平野 和生 議員

地域の声を町政に反映できよう努めて行きます。



中本 博明 議員

今年もクリーンな政治と防犯・防災に全力で尽くします。



砂田 雅一 議員

「町民こそ主人公」の立場で、要求実現のために頑張ります。



松井 岑雄 議員

「対話」こそ世界平和の一步なり。本年も、住民の皆様には、報恩感謝で。



久保 雅己 議員

住民の声を町政に、安心・安全に暮らせる町づくりに努力します。

